

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2017年10月24日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2017年10月24日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【増設多核種除去装置塩酸供給ポンプからの塩酸の滴下について】 増設多核種除去装置の塩酸供給ポンプ設置エリア内に塩酸の滴下(約3秒に1滴)による溜まりを発見。現場調査の結果、塩酸供給ポンプ(A)および(C)共にポンプ本体と入口配管の接続部より微少な漏えいを確認。 なお、漏れた塩酸は当該ポンプ設置エリア内に留まっており、拭取り除去を実施。 塩酸供給ポンプ(C)はポンプ本体と入口配管との接続ボルトの増締めにて漏えいが止まったことを確認。 塩酸供給ポンプ(A)はポンプ本体と入口配管との接続ボルトの増締めを実施したが漏えいが止まらないことから、当該ポンプ(A)の弁を閉鎖、今後、修理を行う。</p>	G III
2	<p>【サブプレッションプール水サージタンク(以降、SPTという。)(B)水位計の指示不良について】 免震棟監視室に設置しているSPT(B)の水位指示計器に指示値が一時的に低下した後、正常値に復帰する指示値不良を確認。その後、指示値は正常値を示している。 なお、当該タンクの現場パトロールにより、漏えい等の異常がないことを確認。 また、現場の指示計器に異常な指示値の変動は確認されていない。</p>	G III